

北八ヶ岳（ニュー）癒し山旅報告書

(山 域) 北八ヶ岳 (にゅう)

(コース) 稲子湯駐車場～ニュー～中山峠(黒百合ヒュッテ)～ミドリ池(しらびそ小屋)～稲子湯駐車場

(日 時) 平成 27 年 9 月 11 日(金夜) ～13 日(日)

(天 候) 12 日：快晴 13 日晴れ～曇り

(参加者) CL(記録)田中孝平・時田明美

(山行タイム)

11 日市原(時田宅付近) 21:30＝中央道経由＝稲子湯登山駐車場 12 日夜半 1:40(仮眠)

12 日駐車場 7:10～ニュー 10:20～中山峠(黒百合ヒュッテ大休憩含む)12:35～ミドリ池 13:50

13 日ミドリ池 6:45～駐車場 8:05＝小諸で入浴＝信越道経由で帰途に付く＝市原 16:00

(山行報告)

今回私が行こうと思い立ったのは一昨年に、しらびそ小屋のおかみさんに挨拶をした折に私の友人で小屋の常連 (S a k a 氏) 宛てに小屋の記念手ぬぐいを預かってこれを渡した旨を伝えるのと私自身が何時もは通り過ぎるばかりで泊った事が無く、今回は是非に泊りたく企画した。ついでにキツイ山行の合間の癒しと足腰の維持だけを目的に「クールダウン山行」と名付けたノンビリ癒しハイクの実施を考えて行なったものである。

11 日夜に Tok さんの近くのセブンイレブン待ち合わせ田中車にて一路(中央道廻り)稲子湯に。

12 日夜半に到着するが、既に 3 台ほど車が停まって居たが、良い場所に停め軽く一杯で就寝。

空は満点の星で快晴が窺われた中で良く寝られて、外の音と人の話し声で目覚め朝食及び準備を行いストレッチの後にニュー目指し登山開始をするが、汗が程よい出方で歩き安い。石楠花尾根の上部に掛かる頃には硫黄岳の爆裂火口も見え、また周辺は苔で一面の緑のジュウタンに赤・茶・白・黒の色とりどりのキノコが顔を出していた。残念ながら私はキノコオンチでどれも「毒キノコ」になるのはやむを得ない。よって採る事が出来なかった。ニューに着くと快晴であり北アの槍・穂高から南ア・秩父・富士山等の山々が見渡せ、Tok さんは大感激の様であった。

ニューからは大きく見えて居る天狗岳方面に中山峠目指して進んで行くが、途中で読図を少しだけ遣り、持参した地図を開いて廻りと見比べる。

中山峠手前で天狗岳をバックに記念撮影しながら峠から黒百合平(ヒュッテ)に向かい小屋のカウンターでコーヒータイト(癒しのお茶と手ぬぐいの物色)を行い、マッタリの時間を過ごす。再び中山峠に戻ると後は稲子岳の壁を見ながらの林間を緑に包まれ、ミドリ池まで小一時間で辿り着く。まだ日は高く何時もなら下まで帰れる時間だが今回はココ「しらびそ小屋」に泊るのが目的の一つであり、2 時ころからはノンビリ自由時間でお酒入り語らいタイム、外もミドリ池越しに天狗岳をツマミに癒しのひと時を過ごす。

夕食もキノコ汁とフライメニューで美味しく頂き労山カード提示でサービスの缶ビールを出して頂き、ほろ酔いの中で楽しい一夜を過ごした。

尚) 食後も談話室にて楽しいひと時を過ごしたのも言うまでもない。



ツキヨ茸かな。(毒茸だね)



ニガクリ茸かな。(毒茸)



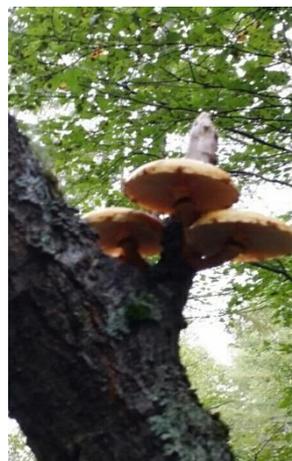
タマゴテング茸かな。(毒茸)



シロタマゴテング茸かな。(毒茸)



ヤブシメジかな。(毒茸)



木の上に成長した茸?



真っ白な茸?(毒だろ)





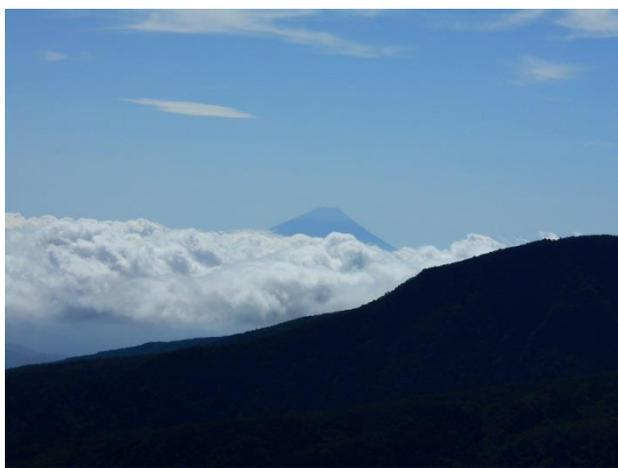
ニュウの頂きにて



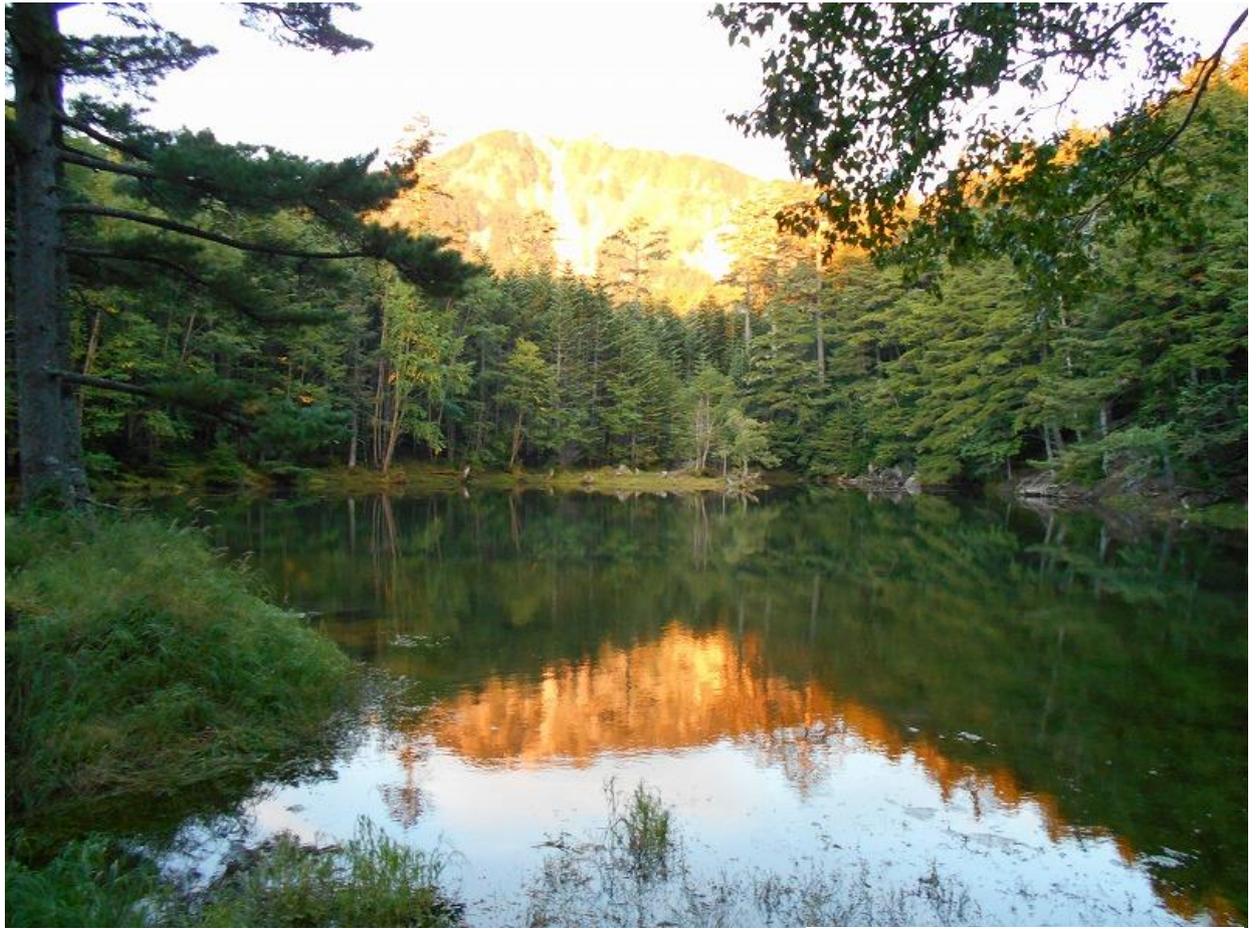
みどり池にて



富士山に秋の色と秋の味？
「ナラ茸かな？毒茸かな？」

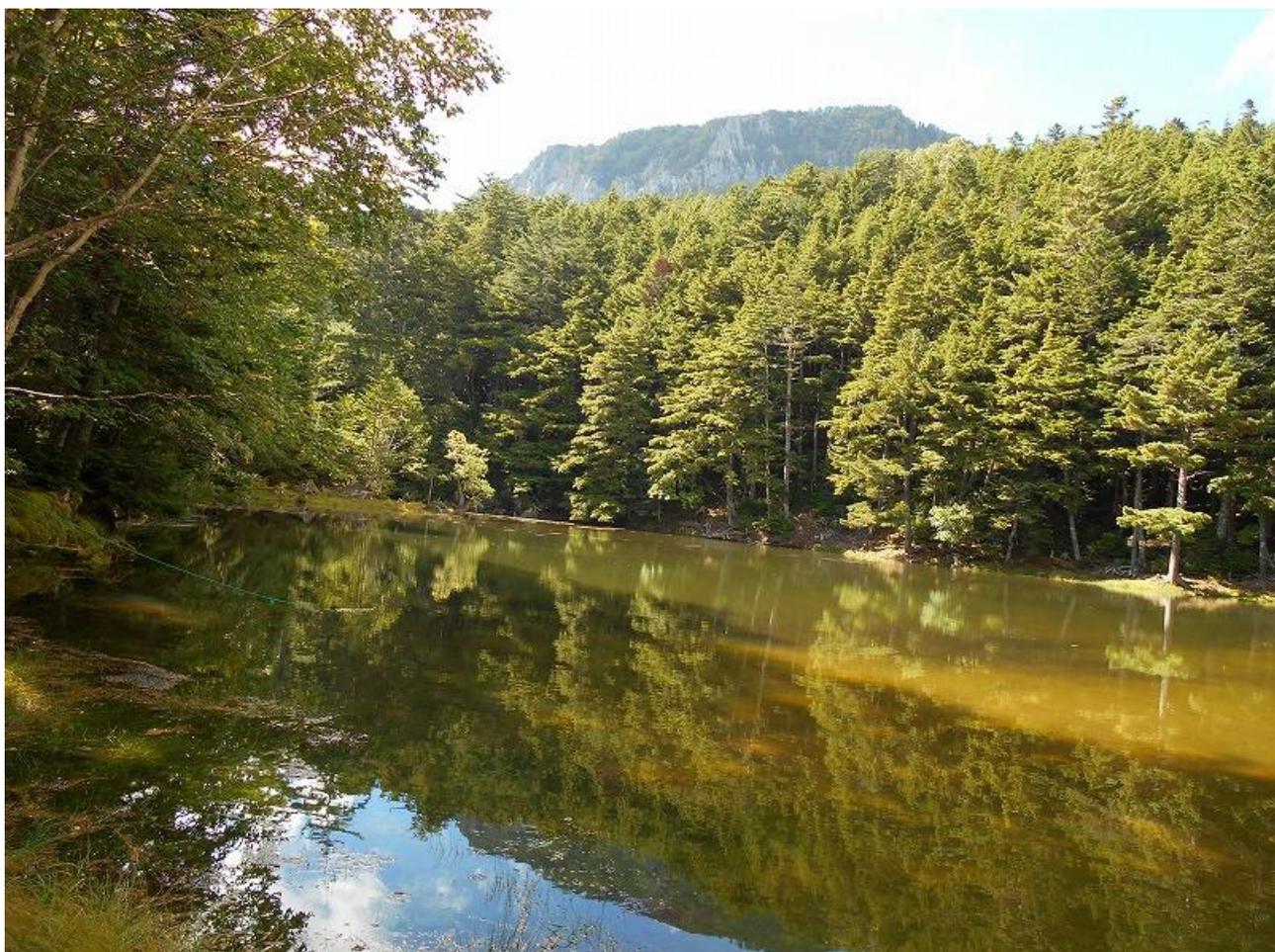


13 日目覚めると見事な朝焼けで天狗岳がピンクに染まり逆さ天狗がミドリ池に写されていた。今日は急ぐ旅でも無く食後はノンビリと身支度をするが、何時もの様にアツと言う間に支度が終わり、ストレッチと記念写撮影の後に小屋をあとにする。途中で沢音録音や落ち葉拾いなどしながら小一時間で駐車場に着き、のんびり癒し山旅を終わる。帰途では何時もの「八峰（ヤホー）の湯」が11時からの為に、ネットで探し小諸まで足を延ばして浅間山から佐久平を眺めながらゆっくりと入浴をし信越道廻りで帰途についた。



天狗岳の朝焼けとミドリ池に写る逆さ天狗





稲子の南壁とミドリ池



心を写すまろやかなミドリ池
200%満足顔(旅)の+okさんと



苔の作り出す美しさ



ニセクロハツタケかな。(毒茸)



綺麗な茸は毒が一杯かな？



ナメコの様な・ナラ茸の様な？(毒と思おう)



天狗岳をバックに(中山峠の展望台にて)



遠くに槍穂高の北アを望む

水と空気(そよ風)かお苔と樹林(みどり)かお茸と
木漏れ目そひて小屋に癒された時を満喫した山旅